

編集後記

今、評判の谷沢永一氏のコラム・書評集『完本 紙つぶて』（文芸春秋刊）を読む。中に「くたばれ！ 大学紀要」と題する一文がある。そこで、氏は「各大学が自治的・自主的に編集刊行する学術雑誌」である『大学紀要』について、「この自主的というのがクセモノで、戦後に激増したウンカのごとき大学教授、助教授たちは、お互いに同僚の提出する論文にはケチをつけないといううろわしい“自治精神”を発揮し、どんな愚劣なものでも、書きさえすれば無審査で載せてもらえる特権を楽しんでいる。そして、学問の進歩になんら寄与しないぐうたら作文の数だけふやし、教授へ昇進する足がかりにしようとするわけだ」ときめつけ、そして「競争と相互批判のないところに学問の発展はない。各大学の程度の低い紀要類は全部いちど刊行を停止し、全国的な学会誌一本にしぼり、きびしい審査をほどこす必要がある」と提案している。このコラムはちょうど10年前（昭和44年4月26日）に某紙に発表されたそうである。谷沢氏が現在もこのように考えておられるかどうか定かではないが、ここでも氏の見解や提案はかなり独断的であり、必ずしも賛成しがたい。しかし、場合によっては、氏が指摘、糾弾されている事態に墮す虞れ全くなしとしないのではないか。この点、『流通経済大学論集』を「自治的・自主的に編集刊行」している私たちも、常々、心していかなばならないことだろう。

本号にも先生方から多くの力作が寄せられ、無事編集を終えることができた。感謝したい。

(Y. O.)

流通経済大学論集 Vol. 13, No. 3 (通巻第48号)

ISSN 0385-0854

昭和54年1月31日発行

非売品

編集兼発行所

製作所

流通経済大学学術研究会
茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地
電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3251 (代表)
財団法人 東京大学出版会
東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内
電話 東京 (03-811) 4281